

『超高齢社会における FP の役割とは～老後のお金と幸せについて～』

超高齢社会の現在において、安心して幸せな老後生活を送るには何が必要なのでしょう。「正しく社会保障制度を理解すること」と「自助努力の知識をもっておくこと」が重要になります。第一部では、行政の現場から鈴木亘氏に社会保障制度のリアルな将来像について、第二部では、資産運用のスペシャリストである野尻哲史氏に「資産形成」とその後の「資産活用」について FP としての担うべき役割をご講演して頂きます。

開催日時：2023年5月13日(土) 13:00～16:30

第一部 「社会保障の真実 年金・医療・介護のリアルな将来」

学習院大学 経済学部経済学科教授 鈴木 亘 氏



安心な老後のため、資産はいくら必要でしょうか。老後 2000 万円問題の例を引くまでもなく、この問題に対する国民の関心、不安感はとても大きいです。逆に言えば、今後の社会保障制度に対する信頼感が揺らいでいるということでもあります。この講演では、政府方針や人口動態などから予想される年金、医療保険、介護保険のリアルな将来像を提示し、老後資産がいくら必要か、いくつかの試算を元に議論を深めてゆきます。

第二部 「超々高齢社会における資産形成と資産活用」

合同会社フィンウェル研究所 代表 野尻 哲史 氏



高齢化率が 4 割に向かい、大幅な人口減少が見込まれる日本において、「資産形成」とその後の「資産活用」はどう位置づけられるべきか。また金融ビジネス、ファイナンシャル・プランニングは、そのなかでどんな役割を担うことができるか。多彩なデータを使ってこうした課題を参加される皆さんと一緒に考えます。

鈴木 亘 氏 【プロフィール】

学習院大学経済学部教授。大阪大学大学院修了(経済学博士)。日銀、日経センター、大阪大学助手、助教授などを経て、現職。専門は、社会保障論、医療経済学、社会福祉の経済学。内閣府・規制改革会議専門委員、国家戦略特区WG委員、東京都特別顧問、大阪市特別顧問などを歴任し、現在、内閣官房・行政改革推進会議委員を務める。

野尻 哲史 氏 【プロフィール】

国内外の証券会社調査部を経て 2006 年から外資系運用会社で投資啓発活動に従事。定年となった 2019 年 5 月に合同会社フィンウェル研究所を設立し代表に。退職後のお金との向き合い方を資産運用だけでなく勤労・移住など多方面から分析する。日本証券アナリスト協会検定会員、行動経済学会等の会員の他、2019 年より金融審議会市場ワーキンググループ、2022 年 9 月より同顧客本位タスクフォースの委員も務める。「IFA とは何者か」(金融財政事情研究会)など著書多数。

会 場：東京都千代田区大手町1-3-7
日経ビル 日経ホール(右地図参照)

受 講 料：3,300 円

認定単位：3.5 単位(ライフ)

※ 申込受付は、日本FP協会東京支部サイト、または日本FP協会 My ページにて 3 月 20 日より受付開始の予定です。

〈お問い合わせ〉日本FP協会 東京支部
tokyo_bb@jafp.or.jp



特定非営利活動法人(NPO法人)

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 東京支部